

K社におけるムダとり改善で良かったこと（現場巡回時のインタビューより）

2008-1/30 松田英一

リーダーの言

- ・ 1月末で終わりになるわけではないでしょう？（もっと続けたいという意）
- ・ 出された改善ネタをスタンディングミーティングで対話するのが良い。これでメンバーに新しい気づきが得られる。相互啓発できる。（1 + 1 = 1 1の意）
- ・ 雰囲気良くなった。製造に書類持って行くときに声かけて一緒に持っていくのが習慣になった
- ・ 作業者が予想以上に困っているのがわかった。「作業指示書が無い」「朝来てやることがない」「しゃがんだり振り向いたりが多い」「取りしろのバラつきがあって迷う」「切り粉の清掃がしにくい」「加工の時どのバイトを使ったらいいのかわからない」「資材伝票の品名とコードがわからない」など
- ・ プリンタの向きを変えろという単純で効果のある改善をパートさんが出したのをきっかけに小さな改善ネタがたくさんでるようになった
- ・ 今までしかたがないと思っていた「行く必要のなかった出張のムダ」の原因である「情報伝達のムダ」改善に取り組む
- ・ 「測定機器の待ち時間が長いムダ」について。予定表を社内ネットワークに設置する提案をしたが担当からは却下された。部課長を通して再度依頼したら通って良かった。
- ・ 「電話の取継ぎのムダ」について開発課員に携帯電話を持たせる案についても費用対効果は十分あるので二度却下されたが闘っていく
- ・ 意識が大事。それだけで改善できる。ミスプリの改善をしようと現状調査しようとしたら急に減った
- ・ ボードの真ん中に大切なことを貼る
- ・ スタンディングミーティングで「困っていることある？」と聞く
- ・ ネタが出すぎて溜まってしまったがスタンディングミーティングで一気に解決させた（立っているのがつらいから協力してくれた）

メンバーの言

- ・ 気づいたことを貼っておくとすぐにとりあげてやってくれるから、また出そうという気になる。
- ・ 困ったことをすぐにやってくれる。ドアが閉まらなくて寒い。1日数回閉めに行くのがめんどろ→ドアを直してくれた
- ・ 今まで所属長には言えなかった。この場ではどんな小さなことでも言える。この場は継続してほしい。

- ・ ボードメンテの当番がまわってきたので自分好みにどんどん変えられてよかった。
- ・ 上場した時、I S Oを取得した時にムダな書類がたいへん増えたがこの機会に一から見直しトーマツと調整結果ほとんど解決した
- ・ ムダとりでういた時間で教育をしているが「私も教えて」という意見が多い
- ・ めんどろだった仕事がなくなった。携帯電話の支所振り分け→N T Tに依頼することになった
- ・ 「書くムダ」に集中して取りくんで減った
- ・ 経理担当の〇〇様と書く→連絡用封筒をつくった
- ・ 課長殿検印願いますと書く→検印依頼カードをつくった→意図せずストアの効果（リードタイム短縮、仕掛り低減）
- ・ 総務にお客様意識ができた。社内の人に来て「いらっしやいませ」
- ・ 5 Sの延長でムダが発見できる（名刺申請書1年分保管→2ヶ月分保管→そんなものいらない）
- ・ 「伝票手扱いのムダ」に集中して取り組んで減った
- ・ サーバーからのアウトプット帳票をバラしてファイルし直す→電子データのままでよくなった
- ・ 帯状のジャバラ伝票をバラす（耳きり）→帯状のままでよくなった

総務課でネタ出し件数ナンバー1の女子社員

「なんとか楽にできないかな」

「定時であがれないかな」

「常に考えている（自宅で風呂に入っているときなど）」

「会社的にはこうでごめんなさいねと社員に説明したときに（あっ。これってムダかなと思った）」

海外営業グループでネタ出しナンバー1の若手男性社員

「すべてあたりまえだとは思わない」

「これ言っても変わらないだろうな」でなくて、とりあえず言ってみる

「自分が楽になるには？」と考えること

入って1年なので「これってこうじゃないといけないなんて思えない」